

公共施設のあり方に関する市民意識調査結果【概要版】

- 1 調査概要
- 2 回答者の基本属性
- 3 回答結果(概要)

第2回委員会資料作成時点における速報

1. 調査概要

(1) 調査の実施概要

| | |
|------|-------------------------------|
| 調査対象 | 市内に居住する16歳以上の方（住民基本台帳から無作為抽出） |
| 対象者数 | 3,000人 |
| 調査時期 | 平成27年8月12日（水）から平成27年8月24日（月） |
| 調査方法 | 調査票による本人記入方式（調査票は郵送による配布・回収） |

(2) 調査内容

| | |
|------------------|--|
| 公共施設の利用状況など | <ol style="list-style-type: none">この2～3年間に、川西市の公共施設をどのくらい利用したか利用した施設に対する満足度（建物・設備の面、サービスの面） |
| 今後の公共施設のあり方 | <ol style="list-style-type: none">各施設で提供されている「サービス」の今後の重要度今後の更新（建替え）費用の負担を減らす工夫将来、川西市がどのようなまちになってほしいと思うか |
| 回答者の基本属性 | 性別、年齢、川西市での居住年数、居住地域、同居形態、外出時の交通手段 |
| 今後の公共施設のあり方（意見等） | 自由記入 |

(3) 回収結果（概要） 第2回委員会資料作成時点における速報

調査票の有効配布数2,994通（宛先不明による返送6通）に対し、回収数1,327通（回収率44.3%）

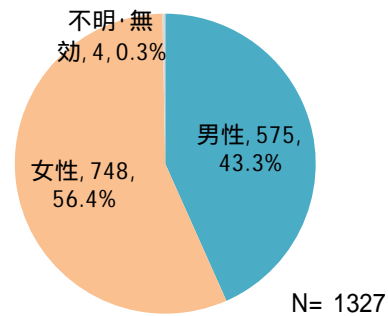
2. 回答者の基本属性

回答者の性別は、男性が4割強、女性が6割弱の割合となっています。

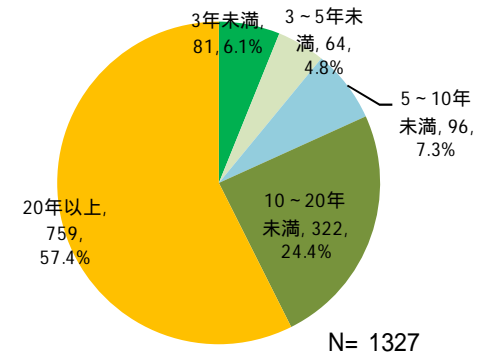
回答者の居住年数は20年以上との回答が最も多く、6割近くを占めています。

回答者の年齢構成は、30歳代、60歳代、70歳代がそれぞれ16~18%程度、40歳代、50歳代、16歳から19歳及び20歳代がそれぞれ10~15%程度の割合となっています。

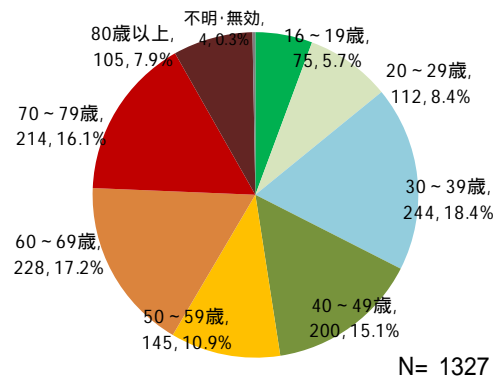
性別



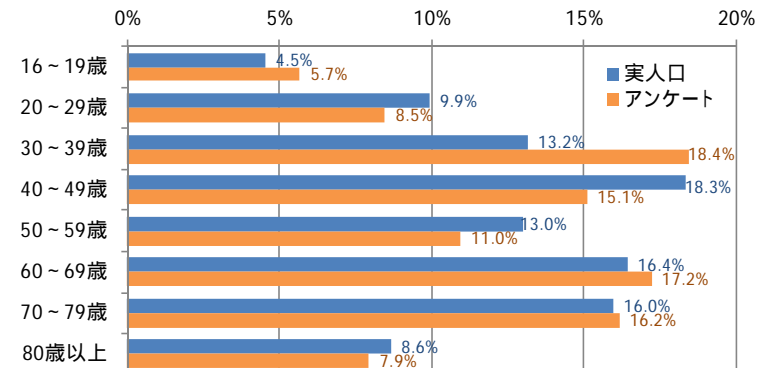
川西市での居住年数



年齢層



本市の人口構成比(H27.3月時点)との対比

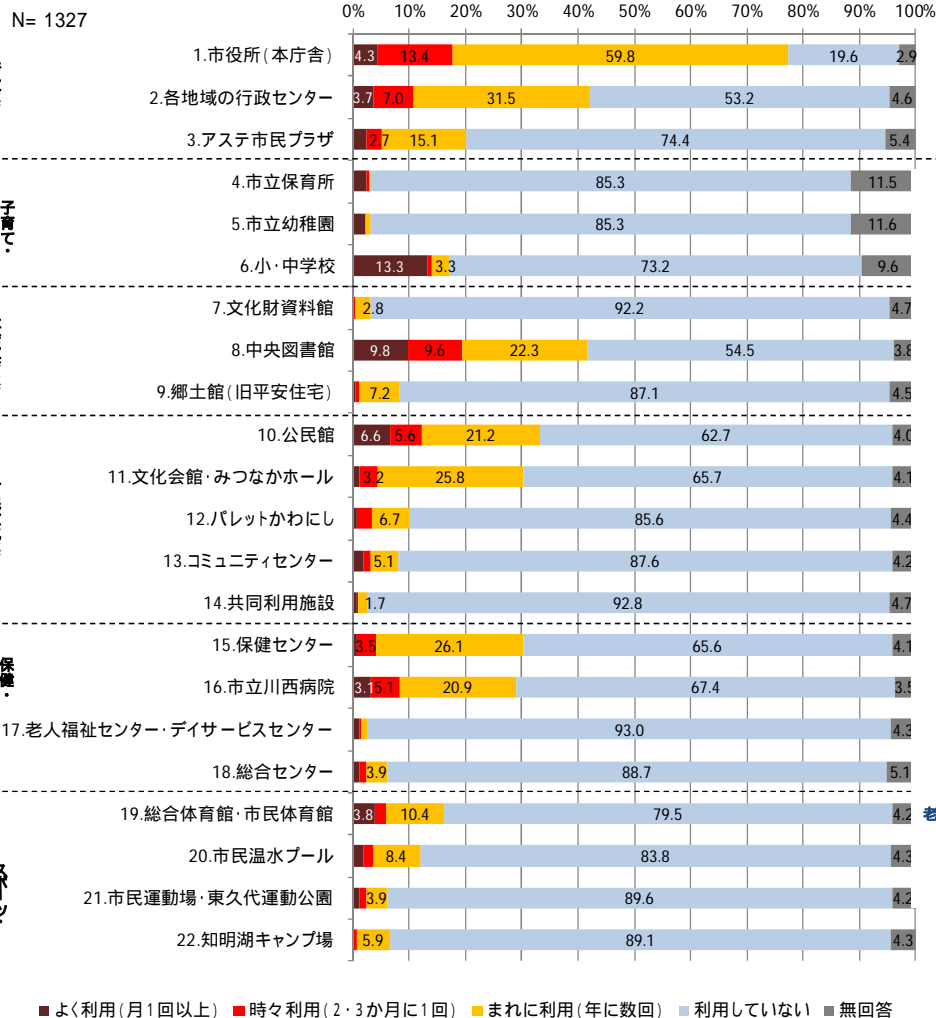


3. 回答結果（概要）

（1）公共施設の利用状況

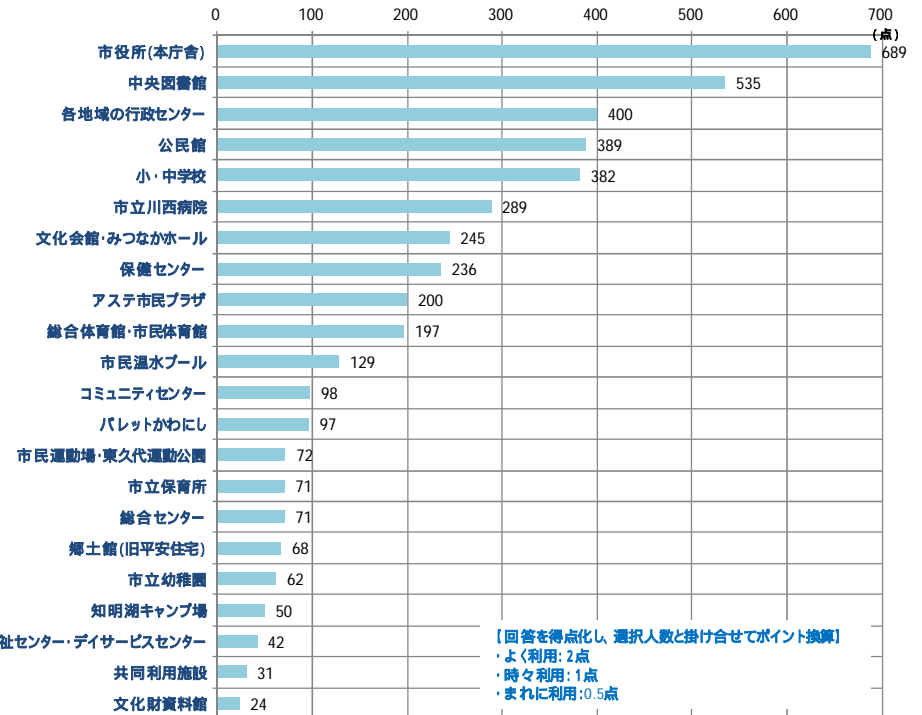
利用状況について、利用頻度に応じてポイント化して比較すると、市役所（本庁舎）、中央図書館、各地域の行政センター、公民館、小・中学校などが上位を占めています。

問1 この2～3年間に、川西市の公共施設をどのくらい利用したか



保育所、幼稚園、小中学校については、子どもが通っている場合は「よく利用(月1回以上)」を選択

利用状況をポイント化し比較したもの



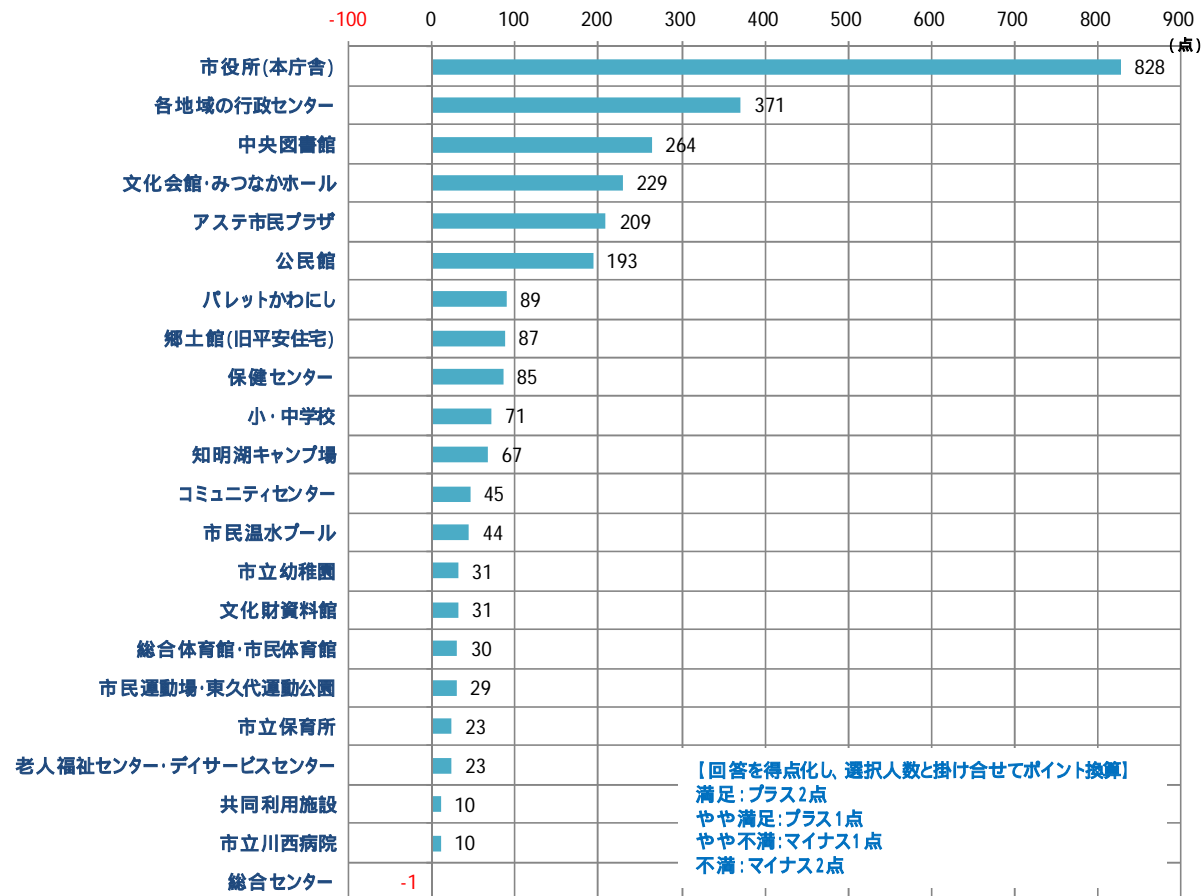
3 . 回答結果（概要）

（2）利用した施設に対する満足度（建物・設備の面）

建物・設備面の満足度では、市役所（本庁舎）、各地域の行政センター、中央図書館、文化会館・みつなかホール、アステ市民プラザなどが上位を占めています。

問1-1 利用した施設についてどのくらい満足しているか

建物・設備の面（ポイント化し比較）



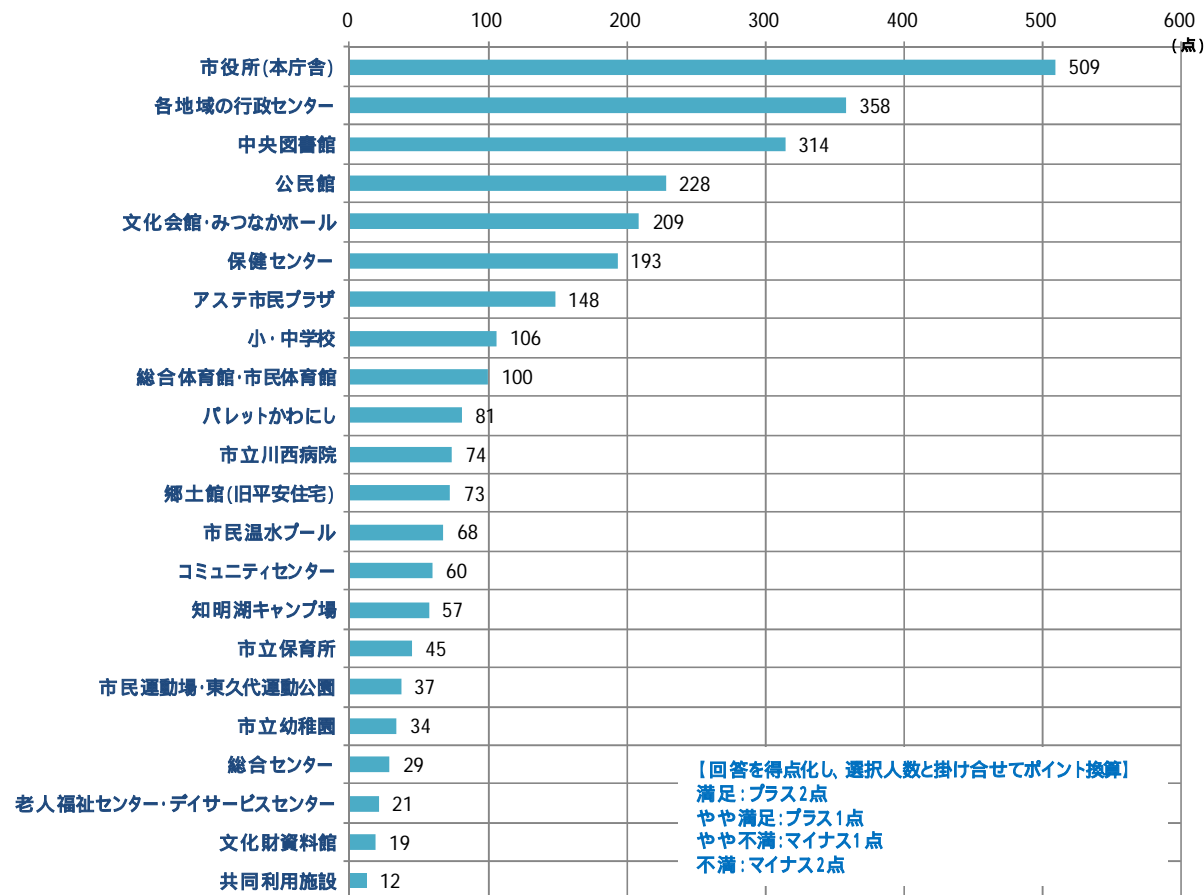
3. 回答結果（概要）

（2）利用した施設に対する満足度（サービスの面）

サービス面の満足度では、市役所（本庁舎）、各地域の行政センター、中央図書館、公民館、文化会館・みつなかホールなどが上位を占めています。

問1-1 利用した施設についてどのくらい満足しているか

サービスの面（ポイント化し比較）



3. 回答結果（概要）

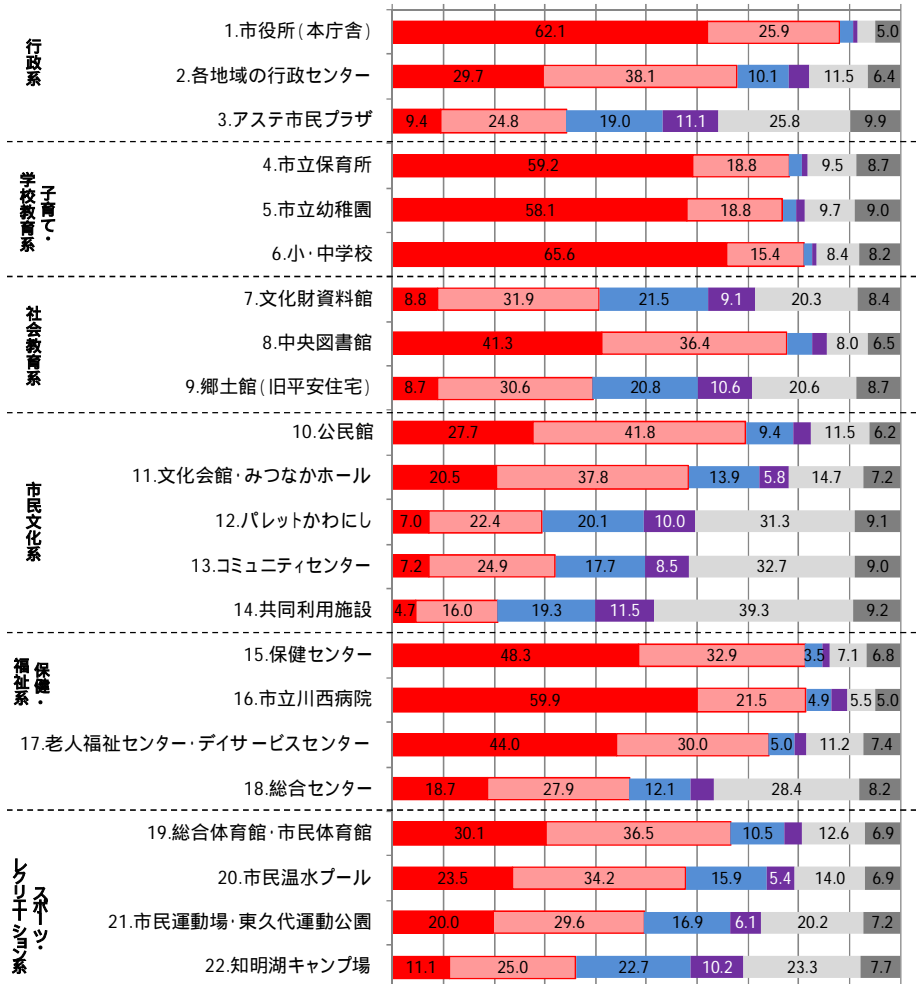
（3）今後における各施設の「サービス」の重要度

重要度に応じてポイント化して比較すると、市役所（本庁舎）、小・中学校、市立保育所、市立川西病院、市立幼稚園などが上位を占めています。

問2 今後、各施設の「サービス」はどのくらい重要だと思うか

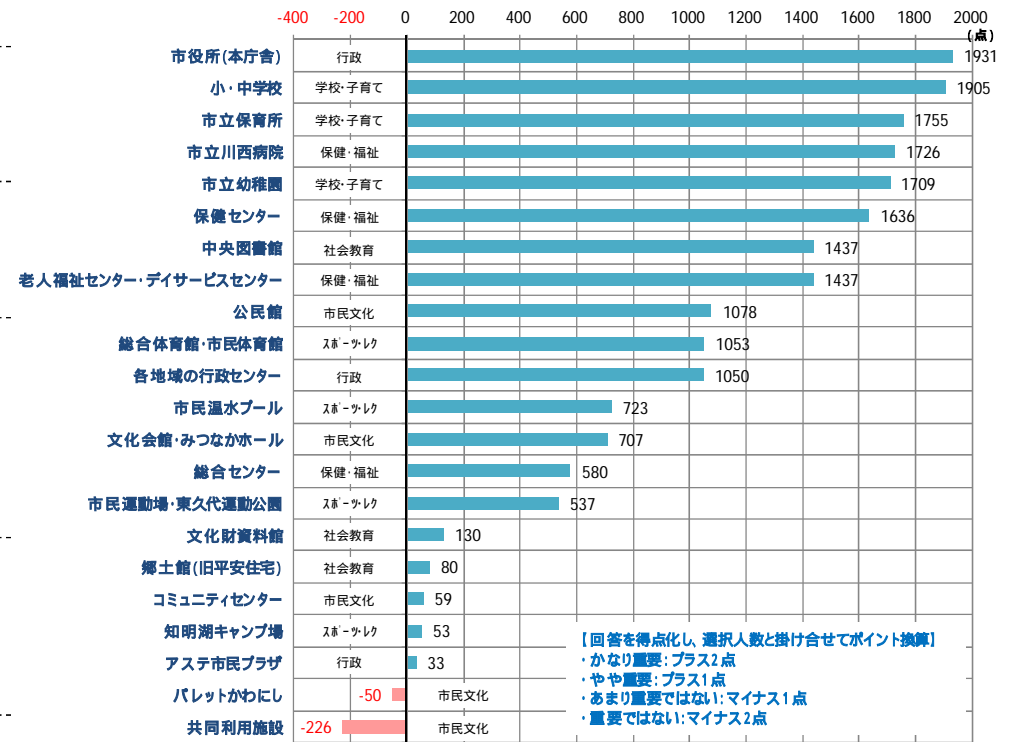
N= 1327

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■かなり重要 ■やや重要 ■あまり重要ではない ■重要ではない ■分からない ■無回答

重要度をポイント化し比較したもの



3. 回答結果（概要）

（4）今後の更新（建替え）費用の負担を減らす工夫として賛成できる方策

「施設の統廃合・集約化」、「転活用による有効利用」に関する方策については、ほとんどの施設種類において、概ね過半数の支持を得ていますが、「子育て・学校教育系施設」など、支持割合がやや低いものもあります。

「多機能化による有効利用」、「市民・地域等への移管」に関する方策については、施設種類によって支持割合にやや開きが見られます。

「広域化（他市と共有）」に関する方策については、各施設種類共に2～3割程度の支持割合となっています。

問3 今後、更新（建替え）費用の負担を減らす工夫として賛成できる方策

各方策に対する賛成比率（％）

N= 1327

| 施設種類 | 方策(類型) | | | | | | | | | |
|--------------------|------------|---------------|-------------|----------------|------------|------------|-----------------|-----------------|------|------------|
| | 施設の統廃合・集約化 | 全市/地域別機能の最適分担 | 多機能化による有効利用 | ソフトサービス充実による代替 | 広域化(他市と共有) | 市民・地域等への移管 | 民間移管(民間施設の利用助成) | サービス維持のための利用負担増 | 長寿命化 | 転活用による有効利用 |
| A 行政系施設 | 48.6 | | 49.4 | 26.7 | | | | | 46.7 | |
| B 子育て・学校教育系施設 | 44.8 | | 38.8 | | | 26.0 | 34.6 | | 40.5 | 53.0 |
| C 社会教育系施設 | | 30.1 | 28.1 | | 28.1 | 37.1 | | | | |
| D 市民文化系施設 | 68.9 | | 40.5 | | 23.4 | 30.0 | | 6.6 | | 50.6 |
| E 保健・福祉系施設 | 50.8 | | | | 21.3 | 28.9 | 41.3 | 13.9 | | |
| F スポーツ・レクリエーション系施設 | 60.1 | | | | 25.6 | 34.4 | 37.9 | 9.2 | | |

空欄部分は設問上、非該当の項目

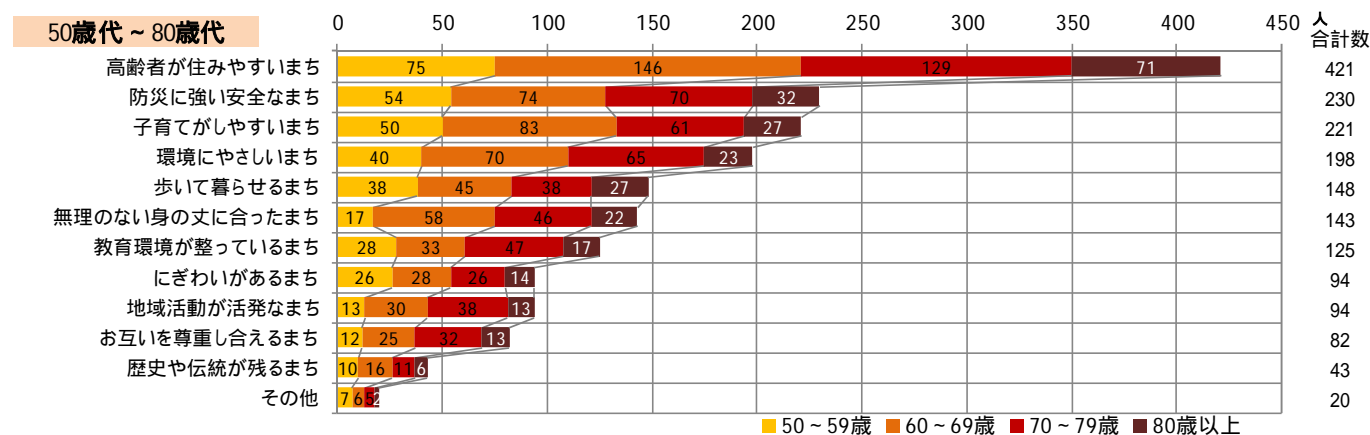
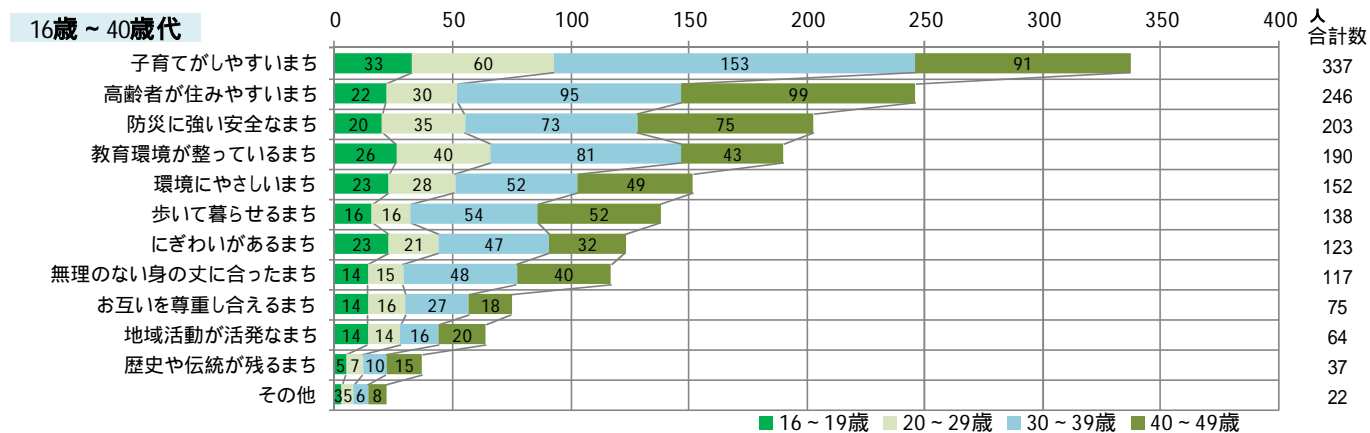
3. 回答結果（概要）

（5）川西市の将来像（どのような町になってほしいか）

16歳から40歳代までで見ると、「子育てがしやすいまち」が最多となっており、16歳～19歳、20歳代、30歳代の各年齢層で最も多く回答されています。この他に、「高齢者が住みやすいまち」、「防災に強い安全なまち」「教育環境が整っているまち」などが上位となっています。

50歳代から80歳代までで見ると、「高齢者が住みやすいまち」が最多となっており、いずれの年齢層でも最も多く回答されています。この他に、「防災に強い安全なまち」、「子育てがしやすいまち」、「環境にやさしいまち」などが上位となっています。

問4 将来、川西市がどのような町になってほしいと思うか

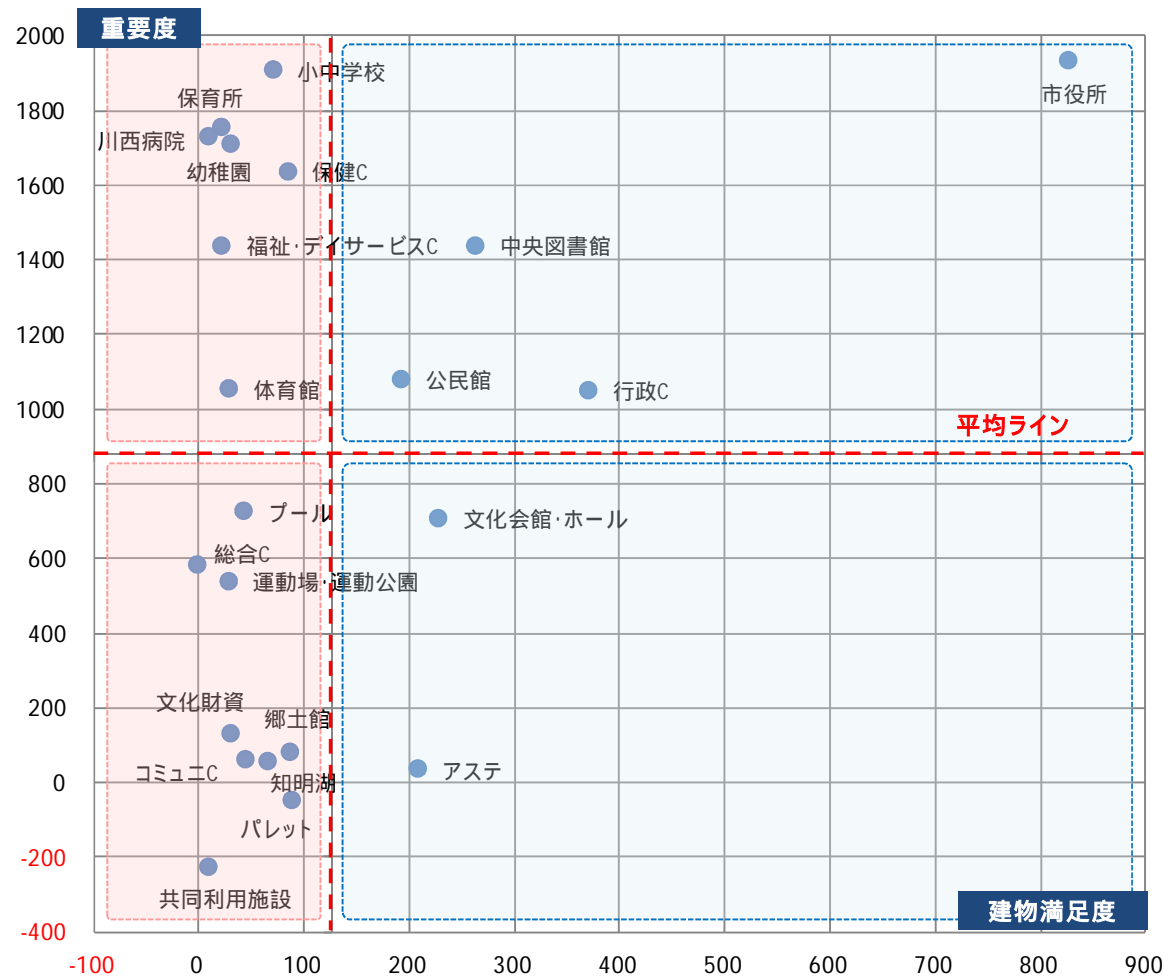


3. 回答結果（概要）

（6）建物・設備の満足度と今後の重要度

満足度と重要度共に平均よりも高い施設は、市役所（本庁舎）、中央図書館、公民館、行政センターとなっています。

重要度が高く、満足度が低い施設は小・中学校、市立保育所、市立幼稚園、市立川西病院などとなっています。また、共同利用施設、パレットかわにしなどは満足度と重要度が共に低くなっています。

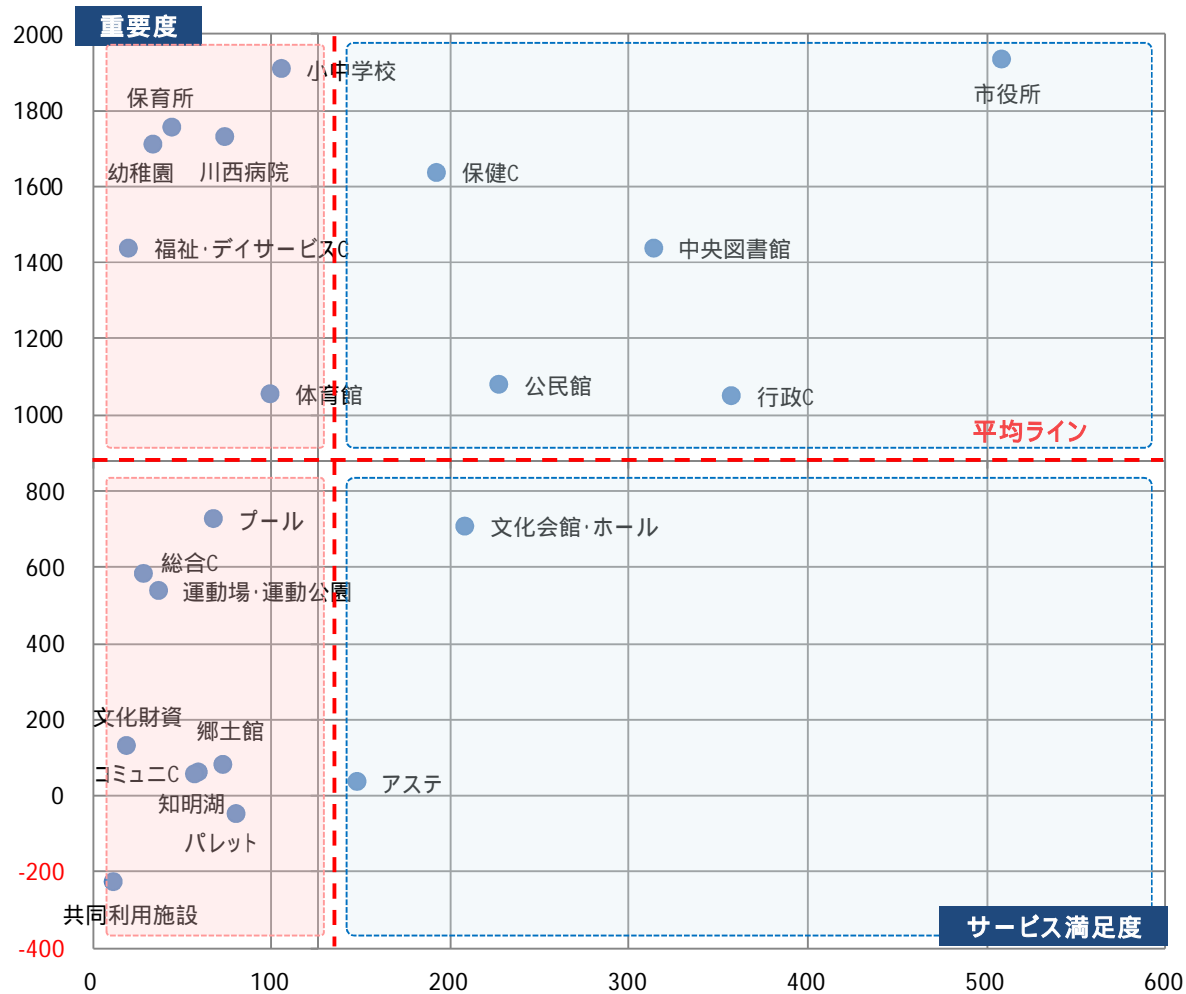


縦横の軸は満足度と重要度をそれぞれポイント換算した数値

3. 回答結果（概要）

（7）サービスの満足度と今後の重要度

建物・設備の満足度のクロス結果と概ね同様の傾向となっており、市役所（本庁舎）、中央図書館、公民館、行政センターが満足度・重要度共に平均よりも高くなっています。

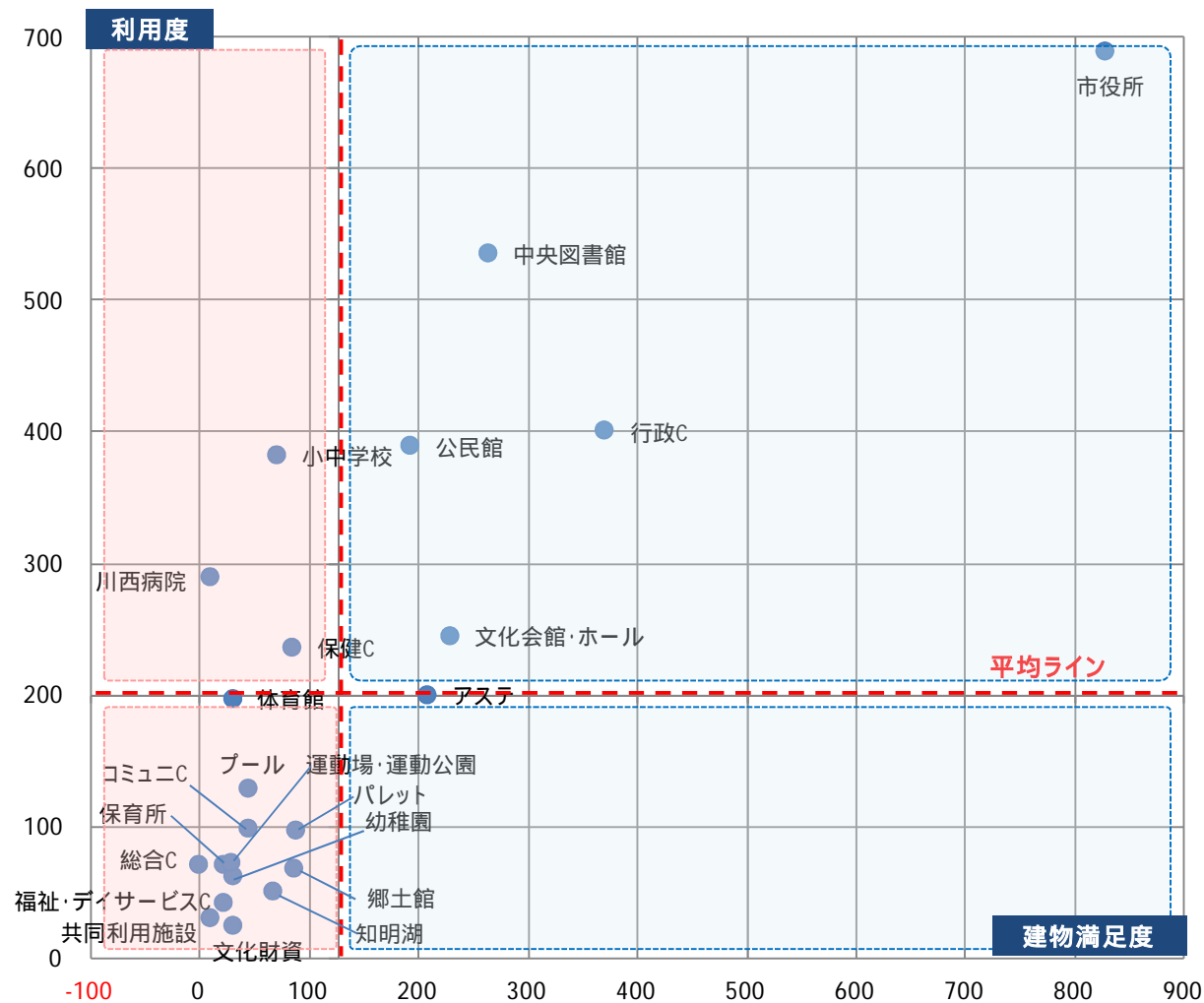


縦横の軸は満足度と重要度をそれぞれポイント換算した数値

3. 回答結果（概要）

（8）施設の利用度と建物・設備の満足度

利用度が高く、満足度が低い施設として、小・中学校、市立川西病院、保健センターなどが該当しています。

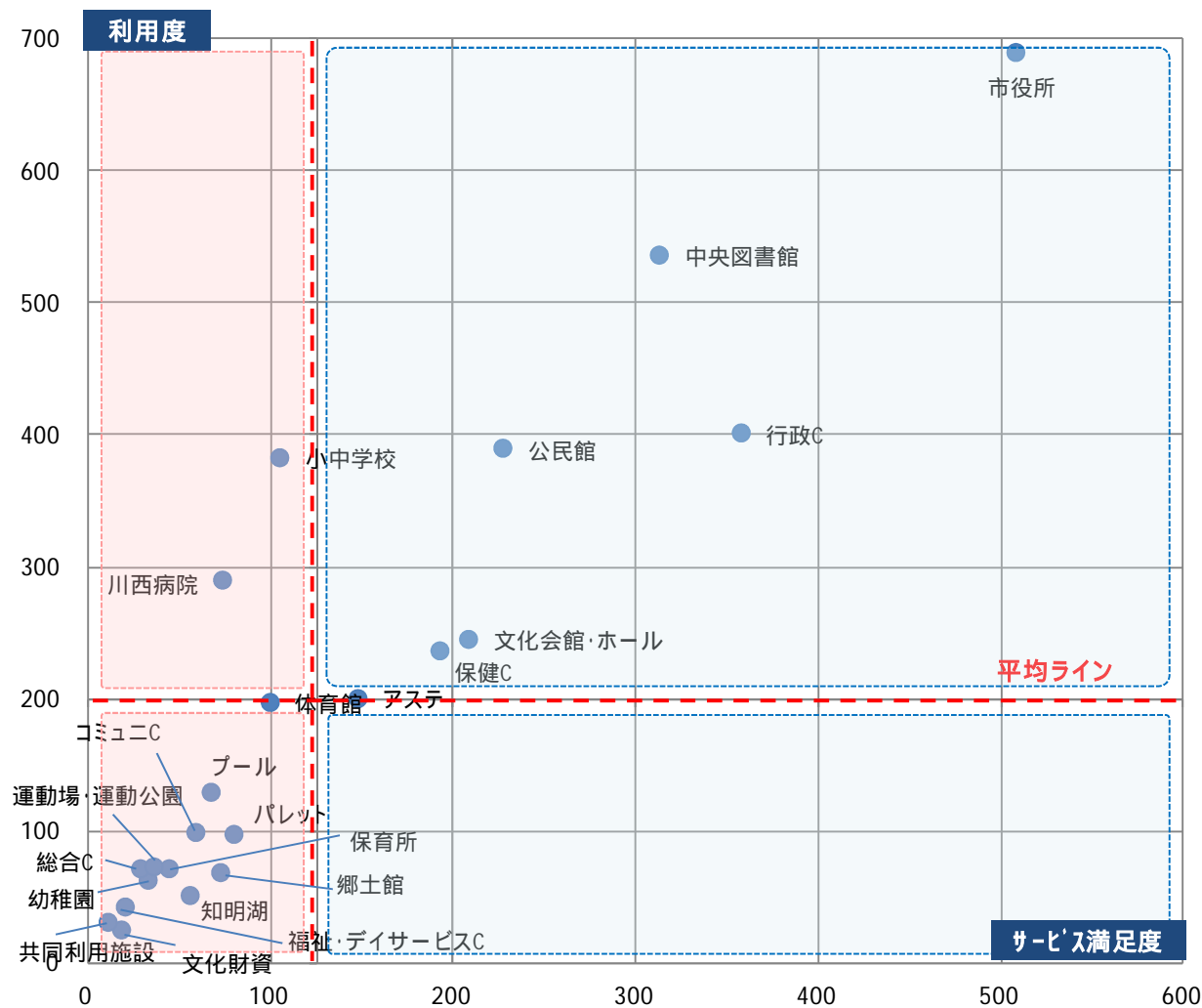


縦横の軸は満足度と重要度をそれぞれポイント換算した数値

3. 回答結果（概要）

（9）施設の利用度とサービスの満足度

建物・設備の満足度とのクロス結果と概ね同様の傾向となっています。



縦横の軸は満足度と重要度をそれぞれポイント換算した数値

3. 回答結果（概要）

（10）自由意見の分類結果（今後の公共施設のあり方について）

（意見記入者数：569人）

